

# 令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

文化芸術課

## 1 施設の概要等

施設名	広島県民文化センター		
所在地	広島市中区大手町1丁目5-3		
設置目的	県民の文化の振興に資する。		
施設・設備	ホール（530席）、展示室（3室）、練習室（3室）、楽屋（4室）、駐車場（36台）		
指定管理者	7期目	R5.4.1～R10.3.31	RCC文化センター・イズミテクノホールマネジメントグループ 共同事業体
	6期目	H30.4.1～R5.3.31	RCC文化センター・イズミテクノホールマネジメントグループ 共同事業体
	5期目	H25.4.1～H30.3.31	RCC文化センター・イズミテクノホールマネジメントグループ 共同事業体
	4期目	H24.4.1～H25.3.31	(財) 県民センター
	3期目	H23.4.1～H24.3.31	(財) 県民センター
	2期目	H20.4.1～H23.3.31	(財) 県民センター
	1期目	H17.4.1～H20.3.31	(財) 県民センター

## 2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]		利用率	対前年度 増減	対目標値増減 (達成率)	
	利用状況	7期	R7	ホール	77.9%	77.9%	3.9%	0.0%
展示室				51.0%	51.2%	△2.3%	0.2%	(100.4%)
練習室				75.1%	74.9%	△1.7%	△0.2%	(99.7%)
R6			ホール	77.7%	74.0%	△3.8%	△3.7%	(95.2%)
			展示室	50.8%	53.5%	2.4%	2.7%	(105.3%)
			練習室	74.9%	76.6%	7.3%	1.7%	(102.3%)
R5			ホール	77.5%	77.8%	18.1%	0.3%	(100.4%)
			展示室	50.6%	51.1%	11.3%	0.5%	(101.0%)
			練習室	74.7%	69.3%	5.3%	△5.4%	(92.8%)
6期平均 H30～R4		ホール	78.8%	59.7%	△13.2%	△19.1%	(75.8%)	
		展示室	59.0%	39.8%	0.1%	△19.2%	(67.5%)	
		練習室	84.3%	64.0%	△3.2%	△20.3%	(75.9%)	
5期平均 H25～H29		69.2%		72.9%	4.6%	3.7%	(105.3%)	
4期	H24	75.0%		68.3%	4.1%	△6.7%	(91.1%)	
3期	H23	74.0%		64.2%	△3.7%	△9.8%	(86.8%)	
2期平均 H20～H22		75.1%		67.9%	△4.2%	△7.2%	(90.4%)	
1期平均 H17～H19		72.0%		72.1%	0.7%	0.1%	(100.1%)	
(導入前) H16		—		71.4%	—	—	—	
増減理由	大規模修繕工事によるホール利用停止期間が約1ヵ月あったが、神楽公演を始めとする自主事業の積極的な実施により、「ホール」「展示室」においては、目標達成に至った。							

※ 5期まではホールのみの利用状況を記載。

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査 実施 内容	【実施方法】	【対象】
	アンケート・ヒアリングの実施	主催者（施設利用者）
	【主な意見】	【その対応状況】
	設備・備品が老朽化している。	利用者ニーズをもとに計画的に修繕及び更新に努めた。
	バリアフリー不足（洋式トイレを増やしてほしい。）	令和8年度に洋式トイレへの改修を予定している。

#### 4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報（必要随時）	—	
管理運営会議（12回・現地）	<b>【特記事項等】</b> 施設の老朽化、緊急工事への対応。 <b>【指定管理者の意見】</b> 施設運営に影響が出ないよう、県と調整のうえ、利用者にも配慮して工事を実施する必要がある。 <b>【県の対応】</b> 課題点については適宜情報共有を行い、計画的な修繕工事に着手する。		
現地調査（2月に実施）			

#### 5 県委託料の状況

（単位：千円）

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	7期	R7	86,140	7,697		7期	R7	83,398	△1,754
県委託料 （決算額）		R6	78,443	△837	料金 収入 （決算額）		R6	85,152	△275
		R5	79,280	△1,931			R5	85,427	23,998
	6期平均	H30～R4	81,211	12,082		6期平均	H30～R4	61,429	△11,842
	5期平均	H25～H29	69,129	329		5期平均	H25～H29	73,271	△1,815
	4期	H24	68,800	△1,000		4期	H24	75,086	△3,818
	3期	H23	69,800	△2,708		3期	H23	78,904	468
	2期平均	H20～H22	72,508	△1,254		2期平均	H20～H22	78,436	△3,086
	1期平均	H17～H19	73,762	△7,964		1期平均	H17～H19	81,522	4,437
		（導入前）H16	81,726	—			（導入前）H16	77,085	—

#### 6 管理経費の状況

（単位：千円）

項目		R7 決算額	R6 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	86,140	78,443	7,697	物価等高騰に係る委託料の増
		料金収入（※1）	83,398	85,152	△1,754	ホール利用停止期間の影響に伴う減
		その他収入	68	20	48	
		計(A)	169,606	163,615	5,991	
	支出	人件費	34,485	34,402	83	
		光熱水費	27,339	29,497	△2,158	ホール利用停止期間の影響に伴う減
		設備等保守点検費	49,184	48,417	767	物価等高騰に係る委託料の増
		清掃・警備費等	26,582	26,149	433	物価等高騰に係る委託料の増
		施設維持修繕費	7,004	7,000	4	
		事務局費	9,780	9,805	△25	
その他		3,223	3,235	△12		
計(B)	157,597	158,505	△908			
収支①(A-B)		12,009	5,110	6,899		
自主事業 （※2）	収入(C)	35,625	30,962	4,663	神楽公演による収入の増、その他自主事業増による支出の増	
	支出(D)	48,882	42,694	6,188		
	収支②(C-D)	△13,257	△11,732	△1,525		
合計収支(①+②)		△1,248	△6,622	5,374		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	伝統文化の振興を図るために自主事業であるひろしま神楽定期公演を年間で計39回実施した。また県民の文化活動の場としてカルチャースクール12講座を実施した。	自主事業を積極的に実施することで、広島県の伝統芸能の鑑賞を始めとする、県民への文化芸術活動の機会を提供しており、文化芸術に親しみやすい環境づくりに努めている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	ひろしま文化振興財団と連携し、ロビーコンサートや正面広場を活用した演奏会、飲食イベントを行うことで賑わい創出と多様な文化に触れる機会を設け、県民サービスの向上に努めた。	利用者のニーズを汲み取り、利用増加に向けたサービス向上に取り組んでいる。
	○業務の実施による、施設の利用促進	利用者への利用促進減免制度の周知とともに、神楽公演、カルチャースクールの他にピアノ試奏会やスタディールーム(自習室)を実施して利用促進に努めた。	多様な自主事業を積極的に実施するとともに、神楽公演における海外予約サイトの活用など、利用促進に取り組んでいる。
	○施設の維持管理	日常点検業務や小規模な修繕については、随時適切に実施するとともに、緊急を要する修繕についても、早急に対応した。	必要な工事や修繕・部品交換について適時適切に対応している。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	年中無休の施設のため館長、副館長のいずれかが駐在し、危機事案等に迅速に対応した。	業務に応じた適切な組織体制により、適切な管理運営を実施している。
	○効率的な業務運営	構成企業がそれぞれの得意な分野を主として担うだけでなく、協力しあうことで原価低減に努めた。	また、物価高騰の影響下においても、収支の改善に向け適切に対応している。
	○収支の適正		
総括		<p>運営面では「県民の文化の振興に資する」という目的のもと、ひろしま神楽定期公演やカルチャースクール等の実施により、文化に触れる機会と賑わいの創出を実施した。</p> <p>維持管理においては、施設の適切な維持管理によって長寿命化に努めた。</p>	<p>広島市中心部という施設の利便性を活かした自主事業を実施することで、外国人観光客等の誘客など利用者の増加や、地域の活性化に貢献している。</p> <p>また、施設の維持管理を適切に行い、施設の長寿命化を図っている。</p>

## 8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和8年度)	引き続き利用者の安心・安全を第一に考えながら、施設の適切な維持管理を図るとともに、自主事業等を通じて施設の有用性をPRすることで、施設の利用促進及び収支改善に取り組む。	今後も指定管理者と随時情報を共有し、施設の整備や利用促進策について検討する。
中期的な対応	<p>「県民の文化の振興に資する」という目的のもと、伝統文化にとどまらず、多様な文化活動の場として幅広い利用者が活用できる施設、また多様な文化に触れることができる施設を目指す。</p> <p>さらに、地域(紙屋町・大手町未来会議等)と連携しながら、賑わいの創出と施設の有効活用に努める。</p>	地域の活性化に向け、引き続き紙屋町地区中心部と連携するなど、施設の有効利用について検討するとともに、利便性向上に向け、必要な修繕を計画的に実施し、利用率向上を図る。